

おおがわら

議会だより

第179号
令和8年5月1日
QRコードから議会の情報をご覧ください
大河原町議会



インタビュー 町民の声

町に望むことをお聞きしました。

プロフィール

佐藤 美紀さん (桜町3区)
柴田町出身
【家族】夫・子ども2人(一男一女)・父・母・愛犬(3歳)

みんなに優しい
町づくりを

桜と自然に恵まれた
住みやすい町

結婚を機に大河原町に住むようになりまし

た。ありきたりですが、大河原町は本当に桜が素晴らしいと思います。毎年開催される、さくら祭りを楽しみにしていますし、河川敷沿いの桜並木はとても綺麗だと感じています。

小児医療の
充実に期待

飲食店や商店、総合病院、役場や金融機関など、大河原はとても充実していると思いますが、小児科が少ないと感じます。隣町まで行けばありますが、町内にももう少し増やしてもらえると、風邪などの流行シーズンの混雑

安心して手続きができる環境へ

私の両親は聴覚に障がいがあります。日常生活で困ることはありませんが、手続きの際には手話通訳が必要です。

私も仕事をしているため同行できない場合があります。筆談で対応することもありますが、十分に思いが伝わりにくいと感ずることがあります。通訳の方がいることで、こちらの思いを汲み取ってもらえ、安心して手続きを進めることができます。

家族で楽しめる
場の整備を

あったらいいなと思う施設やサービスとして、我が家には家族同然のトイプードルがい



るため、犬と一緒に入れる施設やカフェがあれば、一緒に楽しい時間を過ごせるのではないかと感じています。以前はドッグランなどもあり、他のワンちゃんとも触れ合う機会もありましたが、現在は利用できなくなっているため、再開されることを楽しみにしています。

人にやさしい町で
あり続けてほしい

私自身、住み始めてから関わってくださる方々がとても優しく、温かい人たちがばかりだ

と感じています。飲食店や商店、病院、学校、部活動など、さまざまな場面で困ったときに手を差し伸べてくれる方が多く、人のあたたかさを実感しています。

これからも、こうした人のつながりを大切にしながら、人にやさしい町であり続けてほしいと思います。

やったあ、雪だー
令和8年4月12日
(おおがわら桜まつり)

令和8年度予算概要.....②③
 予算質疑・総括質疑.....④⑤
 議案審議(1月、2月、3月).....⑥⑦⑧
 町政への提言.....⑨
 委員会活動.....⑳
 議員研修会.....㉑
 町民の声.....㉒

一般会計

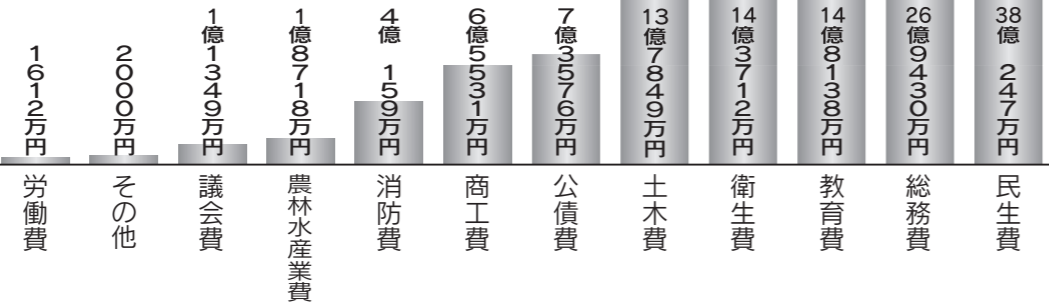
昨年より増
(前年度比7.9%)

129億 2321万円

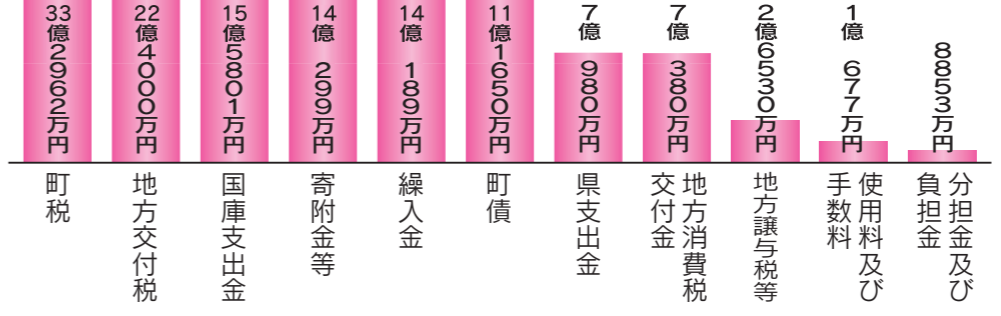
歳入

3月会議

歳出



※四捨五入のため、数値が一致しない部分があります。



3月会議は3月4日から18日までの会期で開きました。町から提出された議案（うち令和7年度各種会計補正予算5件、令和8年度各種会計予算）を審議し、全て原案通りに可決しました。
下記では令和8年度に実施される主な事業を掲載します。



白石川右岸河川敷等
整備事業（イメージ図）

6億3905万円



鷺沼排水区雨水整備事業
（予定地）

11億2250万円

特別会計

事業名	予算額 (前年度比)
後期高齢者医療	4億1409万円 (12.9%)
国民健康保険	22億2990万円 (7.8%)
介護保険	16億3540万円 (0.1%)
仙南夜間初期急患センター事業	4372万円 (△4.3%)
地方卸売市場事業	270万円 (△2.5%)
合計	43億2581万円 (5.0%)

企業会計

事業名	予算額 (前年度比)
水道事業	収益的支出 6億2766万円 (0.7%)
	資本的支出 4億452万円 (0.3%)
公共下水道事業	収益的支出 6億9973万円 (△2.3%)
	資本的支出 16億1817万円 (137.3%)
合計	33億5008万円 (38.1%)

消防団運営事業 4301万円
 農業の担い手育成事業 930万円
 LINE公式アカウント機能拡張 831万円
 金ケ瀬児童クラブ保育事業 96万円
 放課後児童クラブ配食サービス委託料 25万円

さくらっぎーの用語説明



歳入
 地方交付税とは 全国どこでも一定の行政サービスを受けられるよう、国から交付されるお金
 国庫支出金とは 特定の目的のために国から交付されるお金の納税など
 繰入金とは 基金（貯金）を取り崩して、繰り入れるお金のための借り入れるお金
 町債とは 投資的な事業を行うために借り入れるお金

歳出
 民生費とは 障がい者・児童・高齢者福祉、福祉医療など福祉全般に使うお金
 総務費とは 人事、企画、選挙、統計など、町の総合的な事務事業に使うお金
 教育費とは 小中学校、公民館など、教育全般に使うお金
 衛生費とは 予防接種や健（検）診などの保健衛生費、ごみやし尿処理などの衛生費など、安全で衛生的な生活のために使うお金

予算審査

令和8年度一般会計・特別会計・企業会計

予算案の細部を深掘り



3月13日から18日にかけて行われた「予算審査特別委員会」での質疑の一部を掲載します。なお議長（丸山勝利）は含みません。

今野 智志

問 LINE機能拡張システムのために831万円とある。セグメントやオンライン申請が可能になり利便性は上がるがセキュリティ対策も含まれるのか。情報漏洩した場合の責任の所在は。

答 含まれない。町の責任で漏洩があれば町側にあるが、事業者側でもセキュリティ対策を講じている。



高屋 伸一

問 危険ブロック塀等除去事業で、ブロック塀等の除去は、7年度は何箇所実施したか。又、危険なブロック塀等は、現在何箇所あるのか。

答 7年度については、3ヶ所除去した。危険なブロック塀等の数は、要危険度2、要改善と判断されているブロック塀等の箇所は現在28箇所である。

遠藤 勇耶

問 総合体育館の大規模改修に伴い、令和10・11年度の工事中、施設は全面的に使用できなくなるのか、それとも部分的に利用可能となるのか。

きましては、財政当局と相談しながら上げてまいりたいと考えている。

万波 孝子

問 町が配送料を負担して放課後児童クラブ配食サービスを始めるがどこに委託するのか。仙台市では弁当代が高く利用者減の話聞く。本町の弁当代はいくらになるのか。

答 町内の事業所一ヶ所に委託する。9月より実施する。弁当代は税込450円。全体の90%の利用を考えている。

秋山 昇

問 福祉員の成り手が不足している。謝礼に問題があるので。

答 現状年額8万7千円となっている。

高橋 芳男

問 防火水槽の清掃が定期的に必要となる。今後も計画的な清掃をなされていくのか。火災の際に「ヘドロ」が多いという連絡が来ている。



大沼 忠弘

問 給水戸数が増えているが人口が減っている現象をどのように分析しているか。

答 アパートが増えている、住民登録をしていない戸数が増えているものと思われる。

岡崎 隆

問 昨今、最低賃金の上昇もあるが、消防団の報酬というところで2000万超の予算があつているが、それぞれの生業を離れて活動へ行ってというなかで、今の消防報酬の月額で良いのか、見直しについて検討はされなかったのか。

答 消防の報酬については、一昨年前に上げさせていただき、昨年度も出勤手当をあげてきたが、今後の消防団員の報酬につ

指定管理者の公募

募において工事期間を明示した上で、全面休館ではなく、提案により部分的な開放を行いながら改修を進めていく考え。

佐藤 暁史

問 南小学校の枯木伐採費用。去年から危ないと言われ、倒れたら子ども達の命に係るので伐採の要望があつた。昨年度より予算が増額されているが、伐採の要望に対し予算付けされたということが良いか。

答 予算は枯れた松を主としている。学校や保護者からの要望に応じて対処する。

佐藤 巖

問 町長の施政方針において図書資料の充実や事業の推進を述べている。そのためには図書館の面積拡張が必要なのではないか。

答 面積が広くなれば、より多くの図書を展示できたり、図書の保管も行えることから町民にとって良い学びの場になる。前向きに検討する。



中村 淳

問 白石川・荒川堤防河川敷除草委託料で、荒川堤防には、うまのすすくさの群生地があるが、ジャコウアゲハの食草であり、除草の際には、保護して欲しいとの要望があつた。生涯学習課と整合して作業に当たって欲しい。

答 現時点で聞いていないが、確認して対応したい。



須藤 慎

問 外国語指導助手派遣事業において、ALTが3名から4名となり1名増員となる（前年度比8828千円増額）ことで、令和7年度と比べてどのように変わるのか伺う。

答 ALTが入る授業が中学校で1コマから2コマとなり、より多くの時間ネイティブ英語に触れることができるようになる。

※紙面の都合上、一人一問のみの掲載となっています。

予算審査委員会の動画はこちら

佐久間 克明

問 消防団の若年層の入団に伴い、マニュアル車とオートマ車が混在している軽四輪消防ポンプ付積載車を年2台ずつの更新にできないか。また、防災士との連携を検討しないか。

答 難しいが考える。マニュアル車は12台残っており認識はしている。また消防と防災士の連携はないため組織強化の為も含めて考える。



総括質疑

万波 孝子

問 物価高騰支援で商品券や水道料金の減免等の実施は。生活困窮者に寄り添った支援策等について検討する。

答 一目千本桜の保護についても樹木医の指導の下、桜樹保護係の設置が必要ではないか。

問 重要な観光資源を次世代へ継承していく観点から、前向きな検討を行っているか。

答 41億円を投資する賑わい交流施設の影響は福祉・教育分野に及ばないか。行政サービスに影響の無いよう努める。

議案審議

議案第11号 おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業に係る契約の締結について



議案審議の動画はこちら

優先交渉権者として決定された「大河原千本桜パークパートナーズ株式会社」との整備・維持管理の契約を結ぶもの。

契約金額 41億300万円

期 間 賑わい交流拠点施設：施設整備（令和8年度～9年度）、維持管理運営（令和10年度～24年度）
パークゴルフ場：維持管理運営（令和9年度～24年度）



反対

施設整備と維持管理費は令和24年度までで41億300万円かかる。町民からは造る必要があるのか、果して成功するのか等疑問視する声がある。本来であれば住民投票で是非を問うべきであったが町長は反対を表明、議会も否決した。是非を問う機会を奪ったことは住民自治否定と同じである。



反対

建設自体は反対しないが、41億円もの巨額契約に対し説明と信頼が不足している。住民説明は不十分で、年1.3億円の維持管理費の負担抑制策も示されていない。今回の不透明な経緯を清算せず進めるべきではなく、真のにぎわい創出のため、一度立ち止まり、再発防止策等すべてクリアになった時点で前に進めるべき。



反対

これまで本事業について説明を受けてきたが、不安定な社会情勢である現状において、年間約1億3000万円で運営することは先の見通しが甘いと言わざるを得ない。見切り発車で事業が進み、負の遺産になることが町民にとっては残念であることから本議案に反対する。

この事業は総事業費41億円の大規模事業。だからこそ単年度や短い契約期間で判断するのではなく、長期的な安全性と品質、安定した管理体制を重視し判断すべき。実際にPFI手法を採用すると3億円7%の削減になる。この施設は住民の意見や要望が入り、事業者のノウハウと提案が入り、今のプランへ進化してきた。子どもから高齢者まで利用する施設で、本町にとって「新たなまちづくりのシンボル」となる。議会は制度と客観的事実に基づき、長期的視点で町民生活を守る立場。20年先も安心して利用できる施設を次世代へ引き継ぐため、この契約は妥当だと判断する。

賛成



本事業については議員それぞれに賛否はあるだろうが、既に議会の総意として方向性は決定している事項、この決定に従うことは議会制民主主義の根幹。公募一社であったが厳正な審査の結果の決定であり、認めるべき。

賛成



議案第10号 工事請負契約の変更契約の締結について

令和7年6月の第3回議会定例会において議決し、工事契約した「賑わい交流拠点施設整備調整池築造工事」の内容を変更するもの。

契約金額 変更前1億1,220万円→1億7,772万7千円(+6,552万7千円)

内 容 調整池の堤体盛土における土質改良、底盤を多目的に利用できるようコンクリート表面仕上げ、強度向上のための溶接金網を設置する追加工事



反対

5000万円以上の変更契約については議決が必要。本工事は約6600万円の追加工事を議会に諮らず進め、既に約9割が完了していることは重大。職員体制が不十分。発注者である町長の責任は重大であり、再発防止に取り組み信頼回復を得るための努力を強く求める。



反対

規則を無視し、金額未定のまま半年以上工事を強行した行為は極めて不適切。県からも「ありえない」と断じられた手続きを議会が追認すれば、行政の無法地帯を容認することになる。全容解明や実効性ある再発防止策が示されない現状での可決は、議員の職務であるチェック機能としての役割放棄に等しい。



反対

議案第10号には断固反対する。議会への報告や事業開始前の契約変更もなしに58%約6500万円の増額を認めるというのはあまりにも乱暴である。工事自体も9割以上進捗しているのは異常事態であり議会軽視も甚だしい。議員各位には賢明なご判断で賛同願う。

この追加工事は軟弱地盤の判明で調整池の安全性に支障をきたす恐れがあり、町民の生命・財産を守るため必要な措置だった。一連の施工で補強を行わなければ工事費用も大きくなり「施工中の不可分性」は十分理解できる。議決前の施工は容認できないが、施工完了が近いという現実を直視して判断する。議案の否決は工事遅延や新たな財政負担のリスクが懸念され、町民にとって一番望ましくない。執行部には工事変更時、災害時、議決要件超過時に議会へ情報共有をするルール整備。そして土木技術者の確保と育成を強く求める。本事業を進めることは本町の未来に繋がると信じ賛成とする。

賛成



本議案は議会議決を経ず工事がほぼ終了した異常かつ重大な条例違反で遺憾であるが、違反は切り離し変更の必要性は認める。否決は事業計画や補助金に影響し町民負担を招く恐れがあるため、責任明確化と再発防止を前提に賛成する。

賛成



調整池は既にでき上がっており、議会の賛成のもと進んできた事業である。住民投票条例請求の際も請求趣旨は住民意見の集約であった。町長はこれに対し、住民説明会の実施を確約している。執行部は反対討論を肝に銘じることを念押しし、賛成とする。

賛成



- 中村 淳P⑩
 - 町内美化条例及び一般廃棄物回収について
- 高屋 伸一P⑪
 - 通学路の安全対策を急ぐべき
- 万波 孝子P⑫
 - 「非核・平和の町」宣言の実践を
 - 賑わい交流拠点施設調整池築造工事の変更契約について
 - 買い物等が困難な高齢者の足の確保について
- 今野 智志P⑬
 - 本町のふるさと納税における地場産品基準の遵守と持続可能な財源確保について
 - 賑わい交流拠点施設の管理運営における財政負担と透明性について
- 高橋 芳男P⑭
 - 学校体育館におけるスマートロックの導入について
 - 役場窓口でのディスプレイ対策を
 - 出生届をスマホで
- 佐藤 暁史P⑮
 - 不登校児の健康診断について
 - 学校支援員の移動教室について
- 遠藤 勇耶P⑯
 - 全町広域Wi-Fi構想の実現可能性と公共施設Wi-Fi整備の優先順位及び実施方針について
- 大沼 忠弘P⑰
 - 地域ブランド育成について
 - 公共施設維持管理等について
- 山崎 剛P⑱
 - 駅前図書館の現状と課題について
- 須藤 慎P⑲
 - 国の暫定予算について
 - 多文化共生社会について
- 佐久間 克明P⑳
 - 町内の景況について
 - 行政DXについて
 - 専門職・技術職員の配置
- 佐藤 巖P㉑
 - 県道白石柴田線を再度伺う
 - 東部集会所について
- 岡崎 隆P㉒
 - 地方自治の根幹を問う
 - 駅前図書館の充実を急げ

町政への提言 Q & A

一般質問

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は13人の議員が行いました。

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
 (https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/)
 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

その他議案・附帯決議・採決結果

議発第1号 「工事請負契約の変更契約の締結について」に関する附帯決議

10号議案（調整池工事変更契約）の議決にあたり、この事態に至った経緯や課題、職員の認識・知識不足、組織的なチェック体制の不備を検証し、具体的な再発防止策を早急に町民と議会へ説明することを強く求めるもの。

※「^{ふたけつぎ}附帯決議」とは、議会が議案を可決する際、その議案の執行にあたって執行部（町長等）が留意すべき条件や要望を付け加える意思表示のこと。



反対
 議案第10号工事請負契約の締結についての附帯決議は可決された案件に対し事業を執行する上での要望や留意事項を述べるものですが、決議内容はすでに町長からも説明を受けているので、改めて附帯決議は必要ないので反対する。

議案第22号 令和8年度大河原町一般会計予算



反対
 4月から着工する賑わい交流拠点施設に対し町民は納得していない。本事業は既に約12億円が使われている。施設整備費及び維持管理運営費は24年度までで約41億円。今後も年間約1.4億円の負担が続く。将来、禍根を残さないために予定を先延ばししてでも町民に十分な説明責任を果たしてから着工すべき。

各款に渡り担当課から詳細説明を受け、委員の質問も掘り下げ十分納得し理解した。委員間討議や課題提起はなく、根拠に基づく年当初の予算編成と認識。質疑はあったが比較的スムーズに進行し閉会したことが妥当性を示すとして賛成する。



賛成

令和8年第1回定例会(3月会議) 議案等審議結果

議案	結果 (賛成：反対)	議員別表決結果一覧														
		今野智志	高屋伸一	遠藤勇耶	佐藤暁史	中村淳	佐久間克明	大沼忠弘	高橋芳男	岡崎隆	山崎剛	万波孝子	秋山昇	佐藤巖	須藤慎	丸山勝利
議案第10号 工事請負契約の変更契約	原案可決(9:5)	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議
議発第1号 議案第10号の附帯決議	原案可決(9:5)	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議
議案第11号 千本桜スポーツパーク契約	原案可決(10:4)	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議
議案第12号 千本桜スポーツパーク指定管理	原案可決(10:4)	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議
議案第22号 R8一般会計予算	原案可決(13:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)

1月会議 報告1件、議案8件、委発1件、すべて可決

2月会議 報告1件、議案1件工事請負契約の変更契約締結について(大地都R7-3 賑わい交流拠点施設整備調整池築造工事) 取り下げ

議決責任の明確化

一般質問

一般廃棄物回収



じゅん 中村 淳

コンテナ回収の可否は

あらゆる視点から模索

感を持つことは想定される。しかし、排出量の総量に大きな変化は生じないので、袋の使用枚数が増えることは想定されないため町民の金銭的負担を減らす策については考えていない。

問 金銭的負担。袋のサイズを揃える必要がある。一部の資源ごみに関して少量でも出せるようにコンテナ回収への移行を大

河原主導で考えられないか伺う。
町民生活 仙南広域行政事務組合で議論をしなければいけないが、回収ボックスの設置が議論されたケースはなかったと思う。広域での議論の対象になり得るもの。関係機関に情報収集をしていただき、提案してみたいと思う。少々、時間をいただきたいと思う。

文教厚生常任委員会にて、千葉県野田市を訪問した。野田市の市内美化の取り組みについて、大河原町にも有効で適用すべき内容があり、導入の可否を伺う。また、4月以降に一般廃棄物回収が変わることを踏まえ、その周知方法や町民の要望についても伺う。

町長 特定の地域を指定せず、町内全体で環境美化に取り組みることが重要であり、行っていない。

体制の整備も考え、最終的な実効性のある仕組みづくりに際し、幅広く検討に加えさせていただきます。

への変更内容の説明などの対策を講じている。4月以降、集積所に変更後の収集日の揭示を行い、トラブルがないよう努める。

問 野田市では、駅周辺を重点区域に指定し看板や道路標示を行っていたが、やはり大河原駅周辺はごみが見受けられる。尾形橋辺りまで指定地域にできないか伺う。

町長 野田市では、駅周辺を重点区域に指定し看板や道路標示を行っていたが、やはり大河原駅周辺はごみが見受けられる。尾形橋辺りまで指定地域にできないか伺う。

問 一般廃棄物回収の変更について、トラブル回避にどのような施策を行うか伺う。

町長 令和8年4月より、一般廃棄物の収集の日を変更することについては、広報おおがわら3月号への特集記事の掲載や、ネットの活用、行政区長

問 路上喫煙やポイ捨て等の禁止を重点的に推進する必要がある地域の指定について伺う。

町長 運用に際し様々な課題がある。

町長 この廃棄物の収集日を変更することにより、収集頻度が減少し、町民が負担

を進まない箇所はどの程度あるのか。

教育長 これまで町では、平成30年度に実施した通学路内のブロック塀調査を基に、危険と判断された箇所の所有者に対し、宮城県大河原土木事務所と連携しながら戸別訪問や文書による改善の働きかけを行い、改善が必要とされる箇所は現在28件となり、そのうち空き家となっている箇所は4件。なお、所有者と連絡が取れないケースは多く引き続き改善に向けた対応を進める。

問 危険箇所について、担当課、学校はもちろん各地域や家庭、児童生徒たちへの周知徹底はどのような手法で取り組んでいるか。

変更点に分かりづらい

安全確保の優先を

一層の周知と対策に努める

本町における通学路に面した空き家のブロック塀について、地震や風水害時に倒壊する危険性が高い箇所が多いことから対策について以下伺う。



危険と思われるブロック塀

問 通学路に面するブロック塀について指摘してきたが改善の見られない箇所に空き家が多い。そのような箇所を持ち主との連絡が取れずに改善が

進まない箇所はどの程度あるのか。

教育長 通学路の危険箇所については、各学校や民生委員児童委員協議会などによる独自の点検が行われており、教育委員会では、それぞれの結果の報告を受けるとともに随時認識している。また、学校からの報告は、児童からの情報や生徒へのアンケートをもとに行っているほか、保護者が児童と一緒に見回りを行っているケースもある。大きく反映されている。

問 危険箇所について、担当課、学校はもちろん各地域や家庭、児童生徒たちへの周知徹底はどのような手法で取り組んでいるか。

変更点に分かりづらい

通学路



いち 高屋 伸一



一般質問

非核・平和

平和の町としての取り組みは

平和の尊さ周知・啓発する



こ たか なみ まん
孝子 万波



問 町民への説明責任をどう果たしていくのか。

町長 心からお詫びをする。総括、検証を行った上で事態に至った経緯を説明し責任を果たす。

問 専門性が求められる職員体制が不備。チエック体制を横断的に構築すべき。

町長 情報共有がなされていなかった。全庁的にガバナンス機能を徹底する。

問 買物に限らず高齢者の足の確保の充実が年々高まつており、タクシー割引券を求める声が出されている。実施自治体も増えているが実施する考えはないか。

町長 町に要望が届いていないので考えていない。

問 仙台市では8年度から補聴器購入助成制度が始まる。本町でも実施の検討を。

町長 現在のところ考えていない。



戦争のない社会はみんなの願い

問 調整池の追加工事約6600万円を議会に諮らず議決前に着工するという異常事態が起きたが理由は。

町長 当初の計画では想定していなかった軟弱層が確認された。調整池の完成が遅延した場合、周辺工事への影響を考え、やむを得ず議決前に追加工

問 役場駐車場以外にも看板の増設や、広報8月号に平和特集を掲載するなどの取組をするべき。

町長 当初の計画では想定していなかった軟弱層が確認された。調整池の完成が遅延した場合、周辺工事への影響を考え、やむを得ず議決前に追加工

問 高市首相は非核三原則の内「持ち込ませず」を見直し、有事や平時に米軍の核兵器が国内に配備・寄港できるようにする議論がある。どう考えるか。

町長 認識している。将来を担う子ども達の未来が永遠に戦

問 高市首相は非核三原則の内「持ち込ませず」を見直し、有事や平時に米軍の核兵器が国内に配備・寄港できるようにする議論がある。どう考えるか。

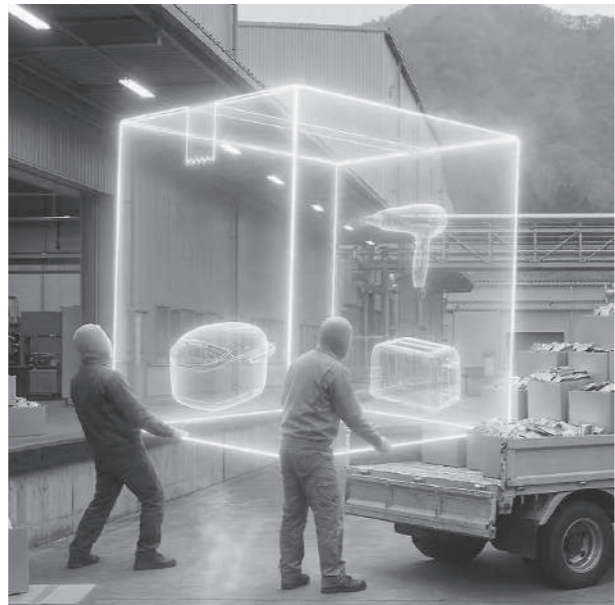
町長 認識している。将来を担う子ども達の未来が永遠に戦

問 アメリカとイスラエルがイランを攻撃日本はアメリカと同盟を結んでいる。新しい戦前が始まった感がある。このまま子や孫にバトンタッチするわけにはいかない。40年前に「非核・平和の町」を宣言している町として平和の取り組みを一層強化すべきでないか。

町長 世界平和に危機感を感じている。万波議員と同じ。核

ほぼ一社依存だがリスク管理は

地場産品の多様化にも注力



製造実態は無くとも「適合」？

問 本町の歳入127億円のうち、寄附額は31億円。そのうち99.4%が特定一社に依存している。調査したところ、町内で実際に製造されている

のは「カイロ」と「脱炭素材」のみで家電製品の実態は無い。10月からの国の基準厳格化により、「付加価値の50%以上が町内」というルールを本場に満た

せているのか。

町長 適合性は角田市製品は共通返礼品として適切に申請し、総務省とも協議済みで適合していると認識している。

問 もし基準不適合からこの先の予算化していることも医療費、学校給食無償化などの財源を突如失う「爆弾」を抱えているのと同じではないか。

町長 国の制度はいつ無くなるかわからない。リスクに対応するために情報収集に努める。

賑わい交流拠点施設

問 交流拠点施設の維持管理に、15年間で22億円、毎年約1.3億円もの町税が投じられる。町はこれまで負担圧縮策に「民間のノウハウ」を強調してきたが、提出された業者の収益還元率は「利益率20%を超えた分の半分」と極めてハードルが高い。これでは実質的な負担軽減にならないのではないか。

町長 事業者の意欲を高めるための設定。結果として賑わいが増え、地域経済の活性化につながることを期待している。

問 驚くべきは還元の内容。現金ではなく、ドリンク割引やイベント無料といった「現物」でしか町に還元されない。町が多

額の現金を支出し続ける一方で、業者からはサービスののみ。これでは住民が納得しない。現金で財政に還元し、福祉や教育などの財源に回すべきではないか。

町長 本施設は収益の目が見えにくい効果も将来への投資。イベント等を活性化させ利用料収入や観光消費を増やすことで、持続可能なまちづくりを進めていく。

ふるさと納税



し ざと し 志 智 野 今



問 驚くべきは還元の内容。現金ではなく、ドリンク割引やイベント無料といった「現物」でしか町に還元されない。町が多

一般質問

体育館



たか はし よし お
高橋 芳男

スマートロックの導入を

調査検討を進める

問 能登半島地震では、避難所の担当者の到着が遅れたため、住民が屋外で待たされる等の事例が発生している。避難場所としての学校体育館へのスマートロックの導入は災害時の防犯対策・管理体制強化のためにも導入を検討すべきだと思いがどうか。

教育長 スマートロックの導入には、予算の確保も重要なため、補助金活用を検討も含め、利用の実情に合わせた改善が行えるよう、調査検討を進める。

ディスレクシア対応

問 ディスレクシアは文字の読み書きに特化した困難を持つ人のことで、周囲からは理解されにくい障害である。ディスレクシアは文字を読む際に文字が動いて見える、文字を読むのに時間がかかり、よく間違えるといった症状が出るため、神奈川県藤沢市では、「ひらがな表示見

本」の設置などの対応を、わが町でも、設置を推進すべきと思うがどうか。

町長 現在窓口では、口頭での丁寧な説明や代筆など、状況に合わせた対応を行っており、今後も誰でも安心して利用できる窓口を目指して環境を整える。



避難所開設を円滑に

出生届

問 現在でも出生届をオンラインで提出するとは可能だが、医師の電子署名が必要だった。8月から不要となるため、一部の自治体が実施に踏み切る見込み。26年度からは、マイナポータルと法務省の「戸籍情報連携システム」を繋げることで職員の負担も軽減し、保育所に入

るための申請もオンラインで対応となる。本町でも迅速な対応を。
町長 オンライン化については、関連する他制度の手続きも同時にオンラインでできることが重要と考える。導入については他制度の進捗や、先行して導入している自治体の状況を注視、慎重に検討する。

健康診断受診の機会を

支援体制を拡充する



健康面でも取り残されない体制づくりを

不登校児童・生徒は全国的に増加し高止まり傾向。支援は学習面や心理面が中心だが「健康面の支援」も重要。

問 本町の不登校児童・生徒数は、小学校32名、中学校46名。このなかで身長体重、内科検診の未受診者数は、

問 健康診断を受けなかつた児童・生徒に代替手段が整備されている。保護者への周知と申し込みは、

問 不登校は教育課題であると同時に保健・福祉の視点も重要。関係部局との連携体制はどうなっているか。

問 この「制度の谷間」とも言える教育現場の声は把握しているか。

問 小学校4名、中学校11名。この現状をどう認識しているか。

問 不登校児童・生徒を対象とした健康診断を実施する計画を策定中。健康福祉の複数課で情報を共有する必要はある。中学校卒業後も支援体制を取る。

問 この課題についてどう考えるのか。

問 全員の健康状態を把握すること

問 不登校児童・生徒が取り残されやすい構造。これをどう考えるのか。

問 配慮が必要な子ども達へのきめ細やかな対応と言う観点から、検討する価値は十分にある。

不登校児童・生徒



あき ぶみ
あき とう さ
史 藤 佐



一般質問

Wi-Fi

公共施設へのWi-Fi整備は

要望があれば整備する



えん とう ゆう や
遠藤 勇 耶

町長 公共施設のWi-Fiについては、各施設の必要性に応じた整備を進めていきたいと考えている。全町広域Wi-Fiについては、全国的にも住宅密集地での運用実績はまだ多くないため、今後、見城前地区において、屋外から発射された電波の室内受信状況の確認や周辺での電波障害発生の有無など、データを約1年間収集する社会実験が行われる予定。現時点では、まだ具体的な工程は示せないが、広域Wi-Fi施設の安定性・安全性の検証を行いながら、住民にとって有効なサービス提供はどんな形か、事業を安定的に継続するための体制をどうするかなど検討を進め、適宜、進捗する中で工程を示したい。いつ実現するかという事は、当然、任期中にたどり着きたいと考えている。

全町広域Wi-Fi構想が示されているが、全町整備の前に役場庁舎や図書館、公民館、避難所など公共施設へのWi-Fi環境整備を優先すべきであり、GIGAスクールにより一人一台端末が前提となった現在、公共施設で学習ができない実態や、防災時における情報取得環境の確保の観点からも早期整備が不可欠であることから、広域整備との整理を含

問 それぞれの整備に要する概算事業費維持管理に係る費用の見込みは。
町長 現時点では具体的な整備を予定している施設はないので、概算事業費を示すことはできない。

では、防災、減災や健康づくり、賑わい創出、移住定住につながる思いで取り組んできたが、実証実験や検証を重ねる必要がある、先進的な町づくりにつながるにはまだ積み上げが必要な段階である。進捗の遅れについては申し訳ない。

問 全町広域Wi-Fiと公共施設へのWi-Fi整備はどちらが優先か。
町長 優先順位を付けた整備構想はない。全町広域Wi-Fi構想を進めつつ、要望や設備の必要性が高まれば公共施設への整備を進める。

問 全町広域Wi-Fi構想については当初に比べ年々トーンダウンしているように感じるが。
町長 全町広域Wi-Fi構想について

問 町長任期中に、いずれかの整備を具体的に前進させる工程を示せるか。
町長 柴田町、大河原町及び両町に係る事業者が商標を用いる場合には、相談に応じながら地域ブランドの育成に連携していくと伺っている。商標登録による障壁はないものと受け止めている。



学びも暮らしも支えるインフラ

のような対応をするのか。
町長 役場庁舎の外壁について、建築されてから今まで洗浄または塗り替えが行われたことはあるのか。またこの先そのような予定、計画はあるのか。

ことから、関係団体とも協議、連携しながら、配布品の活用について検討したい。

公共施設維持管理

問 塗替えの実績はない。効果的な方法や適切な実施時期について検討したい。

問 本町のオリジナルシールのような配布品を活用して町の認知度アップにつなげてみてはどうか。
町長 町の魅力や特色と結びついたデザイン、内容であることが重要であると考えている。ターゲット層を明確にし、その層に響くデザイン、内容を考慮することや、配布の方法、場所、タイミング等を戦略的に選んでいくことで、より大きな効果が期待される

問 町で所管する公共施設は旗日に掲揚するのが自然ではないか。
町長 現時点では考えていない。

問 隣町のしばたの未来株式会社が一、二百千本桜を商標登録した、一目千本桜は地域共有の財産との認識があり、今後本町内でも様々な商品を展開していくことも想定されているものか。
町長 需要、供給側双方に多くのメリットをもたらす可能性があるかと認識している。多岐にわたる効果が期待され、地域の魅力を発信する有効な施策であると捉えている。

問 全面的な洗浄や塗り替えの実績はない。効果的な方法や適切な実施時期について検討したい。

地域・自治体ブランド認証制度とは、多くの自治体が地域の優れた産品、技術、サービスを「ブランド」として認定し、その価値を地域内外に広く発信し



制度導入で地域ブランド育成を

ていくための取り組みであり、地域の魅力向上や経済の活性化を指しているものである。

隣町のしばたの未来株式会社が一、二百千本桜を商標登録した、一目千本桜は地域共有の財産との認識があり、今後本町内でも様々な商品を展開していくことも想定されているものか。
町長 需要、供給側双方に多くのメリットをもたらす可能性があるかと認識している。多岐にわたる効果が期待され、地域の魅力を発信する有効な施策であると捉えている。

ブランド認証制度導入は

有効な施策と捉えている

地域ブランド



おお ぬま ただ ひろ
大 沼 忠 弘

一般質問

駅前図書館

増改築の検討を

拡張の実施に向け検討



つよし 剛
やまざき 山崎



町長 生涯学習や地域の支援の視点から、図書館の役割は大きい。今後、条件が整えば、増改築による拡張の実施に向け検討していく。

町長は施政方針で図書館について言及していることから以下伺う。

問

職員の要望としての、充実した資料や各種情報機器などを通じて、町民の「学び」「健やか」「交わり」をサポートしたいとの意見を重視して、子どもフロアには、絵本、児童書、子どものCD、DVD、子育ての本、日本語学習の本、ブックシャワーなどを。暮

らしのフロアには、ジャンル別の図書に健康、ビジネス、環境、政治、法律、スポーツ、ICT、動物、点字図書、CD、DVD、データベースなどを。学問と芸術のフロアには、一般図書として日本文学、外国文学、時代小説、哲学、宗教、歴史、言語、大活字本、電子雑誌などを。それぞれのコーナーの増設にあわせ、本や雑誌、DVDを整

理するバックヤードの新設が必須である。図書館に隣接するテナントがオーガ内で転居する情報がある。これを契機に図書館の増改築を検討するよう提案し、見解を伺う。

ースを確保している状況の中、増改築等による拡張は非常に望ましいと考える。リース面積や賃料等が具体的な状況となれば、室内レイアウトや人的配置について考えて行く。

町長

駅前図書館に於けるバックヤードの新設は、以前からの課題である。毎年行っている蔵書点検や雑誌リサイクル等により本を除籍して配架スベ



バックヤードの新設を

多文化共生社会について

問 令和7年度の町内在住外国人は、181人と年々増加傾向にある。外国人にも優しい町づくりも必要と考える。

町長 取り組みの必要性が出てきている。

問 災害時における多言語の情報発信も必要と考える。

町長 今後検討する。外国人へのアンケート調査などを行うと共に、国際化・多文化共生推進計画を策定すべき。

町長 先行自治体の事例研究などを行っていききたい。

影響は少ない

本町への影響は

暫定予算

23日	参院本会議で所得税法改正案など審議入り
週前半	高市首相が暫定予算案の編成可否を判断?
24日	参院予算委員会で公聴会
25日	参院予算委で集中審議
31日	予算案と日切れ法案の月内成立期限

2026年度予算案の3月日程(共同通信)

高市首相は、2026年度予算について、年度内成立を目指す方針を示しているが、国会日程が衆議院議員選挙の影響により約一ヶ月遅れているため、年

度内成立が難しくなれば「暫定予算」が編成されるとの報道がある。(3月11日時点)

問

「暫定予算」となった場合の本町への影響は。

町長

補助金の交付決定の遅れによる事業の開始時期や、工事の着工時期の繰り下げ等の懸念がある。町民の生活に直結する行政サービスは継続的に見える。国の動向を注視し、補正予算も含め適切な対応をしていきたい。

問

河川敷右岸に整備中の(仮称)賑わい交流拠点施設整備事業への補助金活用には影響はないのか。

町長

社会資本整備総合交付金(2分

の1の補助)を活用する予定であるが、影響はないと捉えている。

問

国の新年度予算から小学校の給食費無償化が予算化されることになっている。本町は、既に無償化をおこなっているが影響はないのか。

町長

交付金(給食費負担軽減交付金)は、令和8年度予算に計上していない。令和7年度と同様に町の一般財源による支出としていることから今のところ影響はないと捉えている。

※暫定予算
年度開始前(4月1日)までに国会で予算が成立しない場合、行政サービスの中断を避けるため一定期間の必要最小限の経費を計上する予算のこと。



しん 慎
どう 藤
す 須

一般質問

専門職員確保は



あき かつ ま さく さ
佐久間克明

町の専門職

確保に苦慮している

問 専門職員が不足している要因をどう捉えているか。

町長 土木・建築分野を中心に人材確保は非常に厳しく、自治体間の人材獲得競争や民間との待遇差もあり、採用が困難な状況にある。

しいと考えられるかどうか。

町長 本心に厳しい状況になっている。

問 職員を県に出向させる。または県から技術職の派遣をいただくような検討はしているか。

町長 検討や議論を交わしながら、実質確保につながる。あるいは必要な時に県に手伝ってもらえる環境ができればと考えている。

問 今後、技能職で一つの課をつくれないか。

町長 機構改革の必要性を強く感じている。一例として、令和8年度にふるさと納税に関わる係の新設を行う。

景況把握と支援

問 町内の景況をどのように把握しているのか。

町長 企業訪問や商工会との連携により把握しており、多くの事業者が物価高騰の影響で厳しい状況にある。商品券発行や水道基本料金の減免、支援金給付などを実施してきたが、今後も実情に



官民連携を強化するからこそ専門職が必要

問 応じた支援を講じる。現場の具体的な声と今後の対応は。

町長 賃上げが難しい、雇用維持が厳しい、価格転嫁ができないなどの声がある。今後は単なる給付にとどまらず、将来につながる支援策を検討する。

問 町内消費の循環や事業者同士の意見交換の場づくりは。

町長 行政主導での実施は難しい面もあるが、現場の声を丁寧に聞き、実情に応じた対応を検討する。

白石柴田線

まだ拡幅途中では

待避所の改良工事等で対応した



もっと道路の拡幅が必要

12月議会での上大谷地区の道路拡幅の要望について町は住民と県土木事務所との3者で述べ11回にわたり協議の場を設け、県が事業主体となり「すれ違い可能待避所」と道路の拡幅29.4mの拡幅工事を施し、令和7年3月完了、車両通行に大きな成果が得られ終了したとの答弁であったことから以下同う。

問 40年の長きにわたり要望のあった地区住民の要望はすれ違い待避所の増設が主体であったのか。

町長 地元上大谷住民の要望は2車線道路を想定した拡幅であったが、平成31年3月から始まり地域住民と問題点や解決策を話し合い、早期実現可能な待避所の設置などを含めた改良事業で進められた。

問 県内でこのような短い区間に9ヶ所も待避所があるような県道は他にないか。

町長 大河原土木事務所管内で3ヶ所ほど住民と話し合いで道路の線形や拡幅を実施しているとの回答があった。

問 町長は大河原町が進める県とのコラボ事業である「賑

わい交流拠点事業」の整備を機に先んじて40年以上前から上大谷住民の悲願である県道の「全面拡張」を要望するべきではないか。

町長 県道白石柴田線町を結ぶ幹線道路であります。要望箇所には踏切があり、家屋が連続している区間もあることから、全面拡張するには大規模事業になると想定する。住民と県とも話し合い、県道白石柴田線の現在の状況は大きな成果を得られたと認識している。



い わ お 巖
さ とう さ
佐藤

委員会活動

農業と鳥獣害対策

総務産業
常任委員会

近年、町内におけるイノシシ・クマ等の有害鳥獣被害は増加傾向にあり、農作物被害にとどまらず住宅地や市街地への出没による町民の不安や安全確保が課題となっていることから、猟友会と町の連携、猟友会との意見交換・課題・対策などを話し合った。

課題

- ① 捕獲奨励金・費用負担の不均衡
- ② 担い手不足と高齢化
- ③ 安全確保と法制度
- ④ 環境整備と予防対策の遅れ

委員会の方向性

- 猟友会の活動実態を踏まえた支援の見直し
- 担い手不足に向けた具体策の検討
- 安全確保と制度改善に向けた働きかけ
- 予防・環境整備の強化
- 猟友会に関する知識共有と訓練

委員の視点

有害鳥獣対策は猟友会だけに負担を委ねるものではなく、行政・議会・地域が一体となって取り組むべき課題である。総務産業常任委員会として現場の声を重く受け止め、実効性のある制度改善と町民の安全確保に向け、今後も継続的な議論と提言を行っていく。



一般廃棄物収集運搬業務の取り組みについて

文教厚生
常任委員会

本町は家庭から排出される一般廃棄物（ごみ）などの収集運搬業務を、指名競争入札で一社の民間事業者へ委託している。「不確実で将来の予測が難しい状況」を考慮するとともに、「新型コロナウイルス」の教訓を踏まえ、将来に渡り安定的かつ継続的、適正に業務を遂行していく必要がある。

町の見直し案

- 収集運搬コースの分割
- 町内の複数業者を受託者にする

質疑応答での意見

- 一社では収集が困難な場合に複数社で対応
- 回収時間が変わることを周知する

委員の視点

一般廃棄物の収集運搬は住民生活に直結し、町民からの要望・苦情・災害対応も含めて安定性と公平性が強く求められる業務である。随意契約を行うことの根拠や妥当性の理解、周知を行うよう求める。また業務仕様書の作成、災害時などにバックアップなど事業者と意見交換を重ねてほしい。



2月会議に上程された議案第9号は6月に可決された「賑わい交流拠点施設整備調整池築造工事」工事請負契約の変更契約であった。約7か月以上経て変更金額は6500万円を超過する変更金額は到底議会に諮ることは異常事態ということ、11月に行われた議会の調査でも明らかにされていない寝耳に水の事案であった。一度議案は

議会から差し戻され再度執行部の説明を急ぎ求め、一週間後の2月25日に全員協議会の場で説明されたが不測の緊急事態が起こった。金額の詳細がきりぎりまで把握できなかった。工期が迫っていた、職員の知識不足もあったという議会制民主主義の根幹を踏みにじる説明であった。

令和8年度から始まる本工事前段であるこの工事が大きな町民の疑念を抱かれない経過をたどったことは残念でならない。全容の解明も進まずだれも責任を取らない事態をどう受け止めているのか以下伺う。

問 この度の議案提出は見送るべきではないか、提出することで公文書となれば様々な訴状の対象となるのではないかと。町長 取り下げつつも取り下げるつもりはない。

問 拙速に進められた経過を見れば、本工事を1年間計画止めて、新たな見直しやコンプライアンスの徹底と再発防止に取り組むべきではないか。



現在工事進行中の調整池

賑わい交流
拠点施設

一般
質問

契約変更のルールを守れ

以後無いようにする



おかざき たかし
岡崎 隆

町長 計画を止めるつもりはない、再発防止対策は後日お示しする。

議員研修

今後の政策提言に向けて

～農業従事者との意見交換会を行いました～

議員研修会を2月16日（月曜日）中央公民館まちづくりルームにて行いました。昨年に引き続き、青森大学社会学部の佐藤淳特任教授を講師に迎え、「ワールドカフェ方式による議会懇談会」と題し、農業関係者の皆さんと一緒に「これからの大河原町の農業について」をテーマに懇談会を行いました。

SOUNDカードを用いたワールドカフェ方式で、議員2名と参加者3名でグループとなり、自分で選んだカードに書かれている内容に沿った形で意見交換がなされました。時間が足りないぐらい活発に意見交換が交わされました。



SOUNDカード



活発な意見の交換がなされました



いただいた意見、アイデアを次の議会活動へ

参加した皆さんの声

- ◆ 稼げる農業
農産品のブランド化につながる展開が期待される。
- ◆ 法人化
農家のメリットがないと従事者がいなくなる。
- ◆ 気候変動や獣害虫の問題
補助金ありきの農業問題。
- ◆ 生産物
販売できる施設の設置を望む。
- ◆ 圃場整備
もっと自由に計画させてほしい。

昨年度まで各地区において議会報告会を行ってきましたが、参加者が少ないので、色々検討した結果、今回は初めての試みとして各団体との意見交換会を行うこととし、農業従事者との懇談会を実施しました。令和7年度はこの懇談会をもって議会報告会と代えさせていただきます。今後、広く町民の皆様のご意見を聴取するための方策をこれからも探っていきます。

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬小学校
あがつま ゆうた
我妻 優汰さん

ぼくが住みたい町は「赤ちゃんから高齢の方まで笑って楽しく過ごせる町」です。大河原町はいつもみんながニコニコしていて、だれにでも明るく接し、気持ちよくくらししています。僕が通う金ヶ瀬小学校の周辺の地域では、毎月第二土曜日に「ひまわり亭」というだれでも楽しめる食堂があると聞きます。このような場所が増えていくと、今以上に楽しく過ごすことができる大河原町になると思います。



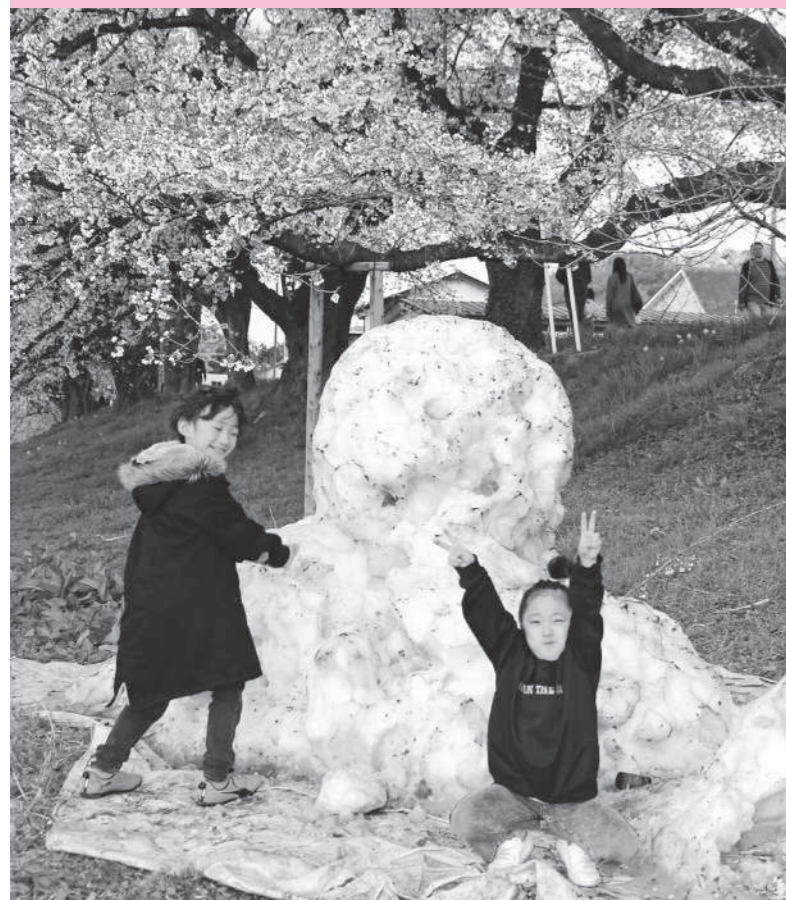
金ヶ瀬小学校
おがた こころ
小形 心櫻さん

わたしは、みんなが笑って過ごせる町に住みたいです。大河原町には一目千本桜や、飲食店がたくさんあってくらしやすいと思います。しかし、わたしのような小学生が思いきり体を動かして遊ぶ場所、まだ少ないと感じます。そこで、雨の日や熱中症が心配な暑い日でも遊べる場所があるとよいと思います。大人が桜を楽しむように、子供たちも大河原町がよい場所だとむねをはって言えるような町になってほしいです。

今回の表紙は

今回の表紙は、桜まつりでの雪と桜のコラボ、子供たちが楽しく遊んでいる様子です。この雪は、宮城県土木事務所からご協力をいただき、蔵王エコーラインの雪を会場に運んだものです。子供たちはもちろん、インバウンドの観光客の皆さんからも大変好評でした。

また桜まつり会場では、高山開治郎翁生誕150年記念式典が実施され、そのほか六華亭遊花さんを招いての落語、各種イベントが開催されました。春の訪れを告げる大河原の桜まつり、訪れる人々の心を和ませ、町に賑わいをもたらしました。多くの笑顔があふれる風景とともに、季節の美しさを感じてみてはどうでしょうか。



編集後記

今回の議会だよりでは、町のさまざまな取り組みや議会の動きをお伝えしました。委員会で内容や構成について検討を重ねております。広報誌は、町民の皆さまと議会をつなぐ大切な役割を担っています。日々の暮らしに関わる情報を、できるだけ身近に感じていただけるよう、表現や伝え方にも工夫を重ねながら編集に取り組んでいます。今後も、町の動きや議会での議論を丁寧にお伝えし、少しでも関心を持っていただける紙面づくりに努めてまいります。また、お気づきの点やご意見などがありましたら、ぜひお寄せいただければ幸いです。引き続き、議会だよりをよろしくお願いたします。（遠藤 勇耶）

- 編集発行責任者 丸山 勝利
議長 長 丸山 勝利
議会広報常任委員 中村 暁史
副委員長 佐藤 忠弘
委員 大沼 勇一
委員 高屋 智志
委員 今野 志

6月議会のお知らせ
 招集日 6月3(水)・再開日 6月9(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-22800